

平成22年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）高齢者の食べることを支援する効果的な栄養・食事サービスの確保等に関する調査研究（委員長 井形昭弘 名古屋学芸大学学長）

## 高齢者の「食べること」を支援するための栄養ケアチーム指導者研修

**主催：** 一般社団法人日本健康・栄養システム学会

平成22年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）（委員長 井形昭弘先生）高齢者の食べることを支援する効果的な栄養・食事サービスの確保等に関する調査研究班

**協力：** 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会・社団法人 全国老人保健施設協会  
一般社団法人 日本慢性期医療協会

**目的：** 医療・介護サービスにおいて、高齢者の「食べること」を支援する栄養ケアの質の一層の向上が求められています。本学会は、これまで、高齢者の栄養ケア・マネジメントや介護予防栄養改善の制度化や推進を目的とした調査研究、マニュアルや手引書の作成、さらには、栄養ケア・マネジメントを担う臨床栄養師を育成するための研修制度を推進してきました。平成22年8月からは、本学会が認定した臨床栄養師及び当該研修の一環として行われる「栄養サポートチーム」研修修了者は、医療報酬による栄養サポートチーム加算取得のための病棟専従者となることが出来ます。

一方、介護保険サービスにおける栄養ケア・マネジメントには、摂食・嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフといった困難事例に対応するため、管理栄養士の栄養ケア・マネジメント能力の一層の向上のみならず栄養ケアチームによる多職種が連携した「食べること」への支援が求められております。

この度、平成22年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）の交付を得て、本学会に蓄積された研修教材や教育システムを活用して、医療・介護サービスにおいて高齢者の「食べること」の支援を担うチームの人材育成のための研修・評価体制の基盤づくりのための指導研修事業を行い、その有効性を評価し、高齢者の「食べること」を支援する効果的な栄養・食事サービスの全国的な推進に寄与することになりました。

高齢者の医療や介護に携わる専門職の皆様は、下記のように高齢者の「食べることを支援する」栄養ケアチームの研修指導者や研修施設を育成するための指導者研修を開催致しますので、是非、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、ご参加の皆様には、研修の前後の指導能力についての自己評価調査に、ご協力いただけますようお願いいたします。

本研修事業が、高齢者の栄養ケア・マネジメントの質の向上のため人材育成体制の整備と今後の介護報酬上の評価にお役にたてることを願っております。

## 日時・場所

第1回 平成22年11月27日(土曜日)、28日(日曜日) 福岡 (定員 500名)

福岡女子大学学生会館 (大会長 福岡女子大学教授 早淵仁美)

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1 代表092-661-2411

地図(時刻表)<http://www.fwu.ac.jp/guide/access.php>

西鉄電車(貝塚線) 西鉄香椎駅から徒歩約12分 香椎花園駅から徒歩約10分

JR九州(鹿児島本線) 香椎駅から徒歩約15分

西鉄バス 天神(郵便局前)都市高速経由の21A・26Aで約15分(女子大前)下車

第2回 平成22年12月5日(日曜日)、6日(月曜日) 静岡 (定員 650名)

静岡県立大学講堂 (大会長 静岡県立大学教授 合田敏尚教授 副大会長 市川陽子准教授)

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 代表054-264-5102

地図 <http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/outline/access/index.html>

静岡駅からJR東海道線(7分)草薙駅 徒歩15分

JR「草薙」駅前より、しずてつジャストライン草薙団地行き(三保草薙線) 県立大学入口(平日は県立大学前) 約5分

第3回 平成22年12月25日(土)、26日(日) 札幌 (定員 650名)

共済ホール (大会長 杉山みち子 研究班研修プログラム長 神奈川県立保健福祉大学教授)

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地共済ビル6階 代表011-251-7333

地図 <http://www.kyosaihall.jp/access/index.html>

地下鉄南北線さっぽろ駅21番出口より徒歩3分 JR札幌駅より徒歩10分

第4回 平成23年1月8日(土)、9日(日) 東京 (定員 650名)

昭和女子大学グリーンホール (大会長 昭和女子大学 大木和子教授)

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7 代表03-3411-5123

地図 <http://office.swu.ac.jp/campusmap/>

地下鉄 東急田園都市線(半蔵門直通)三軒茶屋駅下車 徒歩7分

バス 渋谷駅から下記方面行 昭和女子大下車

**対象者：**高齢者医療、介護サービスの経験3年以上であり、研修修了後、研修指導者、講義を担当することのできる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、介護支援専門員、社会福祉士、介護職等の専門職。各施設・事業所等から複数の職種で参加するようにしてください(管理栄養士は必ず参加してください)。

定員に満たない場合には、上記の条件に該当しない一般参加者も参加できます。開催日の1週間前にホームページでお知らせいたしますので、当日、先着順に受け付けます。但し、お弁当のご用意はできませんのでご用意ください。

**指導者修了証：**2日間の講座を修了し、実習(研修において宿題とした症例の多職種による検討、10時間相当)を修了した者に指導者研修修了証を発行いたします。また、ご了承頂いた修了者は、学会ホームページに修了者一覧としてご氏名、ご所属を公表させていただきます。複数の専門職(但し管理栄養士を含めて)で参加した施設には、次年度以降の研修施設候補として登録させていただきます。

**指導者修了者と研修施設候補施設：**一般社団法人 日本健康・栄養システム学会では、平成23年度、管理栄養士を対象として臨床栄養師研修（認定講座100時間、臨床研修900時間）や基礎・応用研修（其々講座30時間、臨床研修70時間、合計講座60時間、臨床研修140時間）、管理栄養士以外の他職種を対象とした栄養ケアチーム研修（講座30時間、臨床研修10時間の計40時間）、「栄養サポートチーム研修」（平成22年度から）を実施しますので、指導者修了者の各研修科目や時間の相当については平成23年度理事会において決定次第お知らせいたします（詳細な内容は、別紙及び学会ホームページをご参照のこと）。

研修施設候補：複数の専門職（但：管理栄養士を含めて）の修了者のいる研修施設候補は、一般社団法人日本健康・栄養システム学会臨床研修受託施設として申請書類一式を指導者修了証に同封してお送り致します。管理栄養士は研修マニュアルを電子媒体に沿って作成し（施設長名、施設の特性など書き直してください）、臨床研修受託施設の申請を是非行ってください。臨床栄養師研修委員会の承認を得て学会が認定した臨床研修受託施設として学会ホームページに公表されます。本学会における臨床研修は全てホームページに掲載された病院、施設において行われております。また、施設長は研修責任者に、管理栄養士には監督責任者になっていただきます。

監督責任者になった管理栄養士には、論文審査（題目：栄養ケア・マネジメント業務などに関する論文、論文作成指導を受けることができます）を経て、臨床栄養師認定委員会（委員長 井形昭弘理事）によって臨床栄養師の資格認定が行われます。従って、臨床栄養師になるための認定講座、臨床研修、試験は全て免除されます。管理栄養士以外の指導者研修修了者には、栄養ケアチーム研修修了に相当するよう諮る予定です。

**費用（教材実費）：** 7,000円

**事前受け付け締め切り日：** 各開催日の1週間前

**申し込み方法：** 参加申込は下記の参加会場のメールで下記の各会場の申込期間に受け付けを行います。メールには、【指導者研修希望】と必ず記載し、①所属施設種（一般病院、療養病床、介護老人保健施設 介護老人福祉施設 通所介護事業所 通所リハビリテーション事業所等の別） ②施設名 ③施設代表者名（院長、理事長、施設長など） ④連絡先の〒番号、住所、電話、FAX、メールアドレス ⑤参加者氏名 ⑥ ⑤の職種を記載してください。病院・施設で参加者が複数の場合には、同一メールに記載してお申し込み頂いても結構です。各会場が定員になるまで、順次「指導者研修受付番号」をご返信致します。

1. 福岡会場 申込締切 平成22年11月19日（金）  
申込メール：jncm-fukuoka@j-ncm.com
2. 静岡会場 申込締切 平成22年11月26日（金）  
申込メール：jncm-sizuoka@j-ncm.com
3. 札幌会場 申込締切 平成22年12月17日（金）  
申込メール：jncm-sapporo@j-ncm.com
4. 東京会場 申込締切 平成22年12月27日（月）  
申込メール：jncm-tokyo@j-ncm.com

なお、申込後に参加会場を変更する場合には、必ずメールでお知らせください。

**登録手続き**：指導者研修受付番号を受けとった方は、直ちに郵便局からお振込みください。

**郵便振り込み先**：00190-9-408852

講座名義：一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

☆ 通信欄には、必ず【指導者研修〇〇会場と記載し、人数分の受付番号と合計人数】を記載してください。

お振込みが確認されましたら受付番号が登録番号になります。研究会当日は、**必ず振込用紙をご持参ください**。申込期間以降は、全て当日受付とさせていただきます。振込後に参加を取り消された場合にも、テキストをお送りさせていただきますが、ご返金はできませんのでご了承願います。

**テキスト**：介護保険制度における栄養ケア・マネジメントの手引き（DVD2枚付き）

高齢者の経口意向・経口維持、認知症、エンド・オブ・ライフの栄養ケア・マネジメント  
「食べること」を支援するためにー（初版）

摂食・嚥下、認知症高齢者の食べることを支援するためのエビデンスに基づいた栄養ケア・マネジメント（アセスメント票付）

上記のテキストは、平成21・22年度厚生労働省老人保健健康増進等事業によって行われた調査研究成果に基づいて作成されたものです。

栄養改善マニュアル（厚生労働省ホームページより抜粋）

他、各講師による指導者用ハンドアウト（修了者にはパワーポイントも差し上げます）

**その他**：

- ・「指導者研修受付番号」をご返信した参加者の皆様には、研究倫理審査委員会承認後に指導者研修成果の自己評価アンケートへのご協力のご依頼文とご回答頂く場合に必要ID番号をご送付させていただきますので、ご協力のことよろしくお願い申し上げます。
- ・臨床栄養師継続研修相当：12時間

問い合わせ先：一般社団法人 日本健康・栄養システム学会 ncm@j-ncm.com

TEL・FAX 046-828-2663（お問い合わせは必ずメールでお願いいたします）

詳細はホームページ <http://www.j-ncm.com>

平成22年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）高齢者の食べることを支援する効果的な栄養・食事サービスの確保等に関する調査研究班

委員長 井形昭弘 名古屋学芸大学学長

統括管理担当 小山秀夫 兵庫県立大学大学院教授

研修プログラム作成小委員会委員長 杉山みち子 神奈川県立保健福祉大学教授

初期プログラム班長 星野和子 医療法人溪仁会 溪仁会グループ統括本部室 室長

高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤昌彦 相山女子大学教授

摂食・嚥下障害に関するプログラ班長 合田敏尚 静岡県立大学教授

認知症班長 田中和美 特別養護老人ホーム科長

エンド・オブ・ライフ班長 梶井文子 聖路加看護大学准教授

研修事業調査評価小委員会委員長 野地有子 千葉大学大学院看護学研究科教授

情報システム小委員会委員長 宇田 淳 広島国際大学教授

平成22年度 高齢者の「食ること」を支援するための栄養ケアチーム指導者研修大会

会場		【福岡】福岡女子大学大学会館 平成22年11月27日(土)～11月28日(日)		
時間	1日目	2日目		
9:30	受付開始			
10:00				
10:30	<b>開会</b> 10:30～ 司会：総括管理担当(事務局長) >理事長ご挨拶：日本健康・栄養システム学会 理事長 武藤 泰敏 >自己評価調査へのご協力をお願い	ロジのIV グメ栄認 ラン養知 ムトケア ア症 教・高 育マ ブネ者	10:30～11:15 認知症プログラム班長 特別養護老人ホーム ふれあいの森 田中 和美	
11:00	I 講義 高齢者の 食事を 支援す ること の大切さ 教育プログラム	10:50～11:35 <b>高齢者の臨床栄養(1)</b> ー低栄養状態を知ろう 高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤 昌彦 (相山女学園大学教授)	11:15～11:20 質問	
11:30		11:35～12:20 <b>高齢者の臨床栄養(2)</b> ー経管栄養法と口から食することへの 移行のための教育 高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤 昌彦 (相山女学園大学教授)	プマラV ロネイ グジフ ラメン ムト 教・高 育マ ブネ者	11:20～12:05 エンド・オブ・ライフプログラム班長 梶井 文子(聖路加看護大学 准教授)
12:00		12:20～12:30 質問	12:05～12:10 質問	
12:30		12:30～13:30 昼食休憩	12:10～13:10 昼食休憩	
13:00				
13:30	II 基礎 マネ ジ 栄 ケア プ ロ グ ラ ム の 基	13:30～14:15 <b>高齢者の「食ること」の支援に参加するために：                      栄養ケア・マネジメントのポイントを教える</b> 研修プログラム委員長 杉山 みち子 (神奈川県立保健福祉大学 教授)	13:10～15:00 <b>進め方と4つの症例説明                      検討</b> <b>チームでの取り組み法の発表</b> ・低栄養改善 ・摂食・嚥下 ・認知症 ・エンド・オブ・ライフ	
14:00		14:15～14:25 質問	VI ワ ー ク シ ョ ッ プ	
14:30	III 摂 食 ・ 嚥 下 障 害 と 栄 養 ケア ・ 教 育 プ ロ グ ラ ム	14:25～15:30 <b>病者用食品(総合栄養食品)、えん下困難者用食品を                      含めて</b> 摂食・嚥下プログラム班長 合田 敏尚 (静岡県立大学 教授)	15:00～15:10 休憩	
15:00		15:30～15:45 質問	15:10～16:00 <b>討議とまとめ</b>	
15:30		15:45～15:55 休憩		
16:00		15:55～16:15 <b>まとめとワークショップのための課題説明</b>	16:00～16:45 <b>夢の長寿社会の実現のために                      ーチームで支える「食ること」の大切さー</b> 井形 昭弘(名古屋学芸大学学長)	
16:30		16:15～16:45 <b>実習の進め方と自己評価への                      今後の協力についての説明</b>	16:45～16:50 質問	
17:00	終了		16:50～17:00 大会長ご挨拶：委員長 井形 昭弘 大会長	

## 平成22年度 高齢者の「食えること」を支援するための栄養ケアチーム指導者研修大会

会場	【静岡】静岡県立大学講堂		平成22年12月5日(日)～12月6日(月)		
時間	1日目	2日目			
9:30	受付開始				
10:00					
10:30	<b>開会</b> 10:30～ 司会：総括管理担当(事務局長) >大会長ご挨拶：委員長 井形昭弘 大会長 >自己評価調査へのご協力のお願い	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-bottom: 10px;">I 講義 の高齢者の「食えること」を支援すること</div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           10:30～11:15  <b>高齢者の臨床栄養(1)</b>  <b>－低栄養状態を知ろう</b>            高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤 昌彦            (相山女学園大学教授)         </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           11:15～12:00  <b>高齢者の臨床栄養(2)</b>  <b>－経管栄養法と口から食えることへの移行のための教育</b>            高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤 昌彦            (相山女学園大学教授)         </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           12:00～12:10 質問         </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           12:10～13:10            昼食休憩         </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           13:10～15:00  <b>進め方と4つの症例説明 検討</b>  <b>チームでの取り組み法の発表</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低栄養改善</li> <li>・ 摂食・嚥下</li> <li>・ 認知症</li> <li>・ エンド・オブ・ライフ</li> </ul> </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           15:00～15:10 休憩         </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           15:10～16:00  <b>討議とまとめ</b> </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 5px;">           16:00～16:30  <b>実習の進め方と自己評価への今後の協力についての説明</b> </div> </div>			
11:00	切の支の I さ援の「食 教援するこ 育するべ プること ログのし プララを グ大を				
11:30	10:50～11:35 <b>夢の長寿社会の実現のために</b> <b>－チームで支える「食えること」の大切さ－</b> 井形昭弘(名古屋学芸大学学長)				
12:00	11:35～11:40 質問  11:40～12:25 <b>高齢者の「食えること」の支援に参加するために： 栄養ケア・マネジメントのポイントを教える</b> 研修プログラム委員長 杉山 みち子 (神奈川県立保健福祉大学 教授)				
12:30	12:25～12:35 質問  12:35～13:35 昼食休憩				
13:00					
13:30	13:35～14:40 <b>病者用食品(総合栄養食品)、えん下困難者用食品を 含めて</b> 摂食・嚥下プログラム班長 合田 敏尚 (静岡県立大学 教授)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-bottom: 10px;">VI ワークショップ</div> </div>			
14:00	14:40～14:55 質問				
14:30	14:55～15:05 休憩				
15:00	15:05～15:50 認知症プログラム班長 特別養護老人ホーム ふれあいの森 田中 和美				
15:30	15:50～16:00 質問				
16:00	16:00～16:45 エンド・オブ・ライフプログラム班長 野地 有子(千葉大学 教授)				
16:30	16:45～16:55 質問				
17:00	16:55～17:15 <b>まとめとワークショップのための課題説明</b>	<b>終了</b>			

## 平成22年度 高齢者の「食えること」を支援するための栄養ケアチーム指導者研修大会

会場	【札幌】共済ホール 平成22年12月25日(土)～12月26日(日)	
時間	1日目	2日目
9:30	受付開始	
10:00		
10:30	<b>開会</b> 10:30～ 司会：総括管理担当(事務局長) > 理事長ご挨拶：日本健康・栄養システム学会 理事長 武藤泰敏 > 自己評価調査へのご協力のお願い	ロジのIV グメ栄認 ラン養認 ムトケ知 ア症 教・高 育マ プネ者 10:30～11:15 認知症プログラム班長 特別養護老人ホーム ふれあいの森 田中和美 11:15～11:20 質問
11:00	10:50～11:35 <b>夢の長寿社会の実現のために</b> <b>ーチームで支える「食えること」の大切さー</b> 井形昭弘(名古屋学芸大学学長)	ブマラV ロネイ グジフエ ラメン ムン栄ド ト養・ ケオ 教ア 育・・ 11:20～12:05 エンド・オブ・ライフプログラム班長 梶井文子(聖路加看護大学 准教授)
11:30	I 講義 高齢者の「食えること」を支援することの大切さ 11:35～11:40 質問 11:40～12:25 <b>高齢者の臨床栄養(1)</b> <b>ー低栄養状態を知ろう</b> 高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤昌彦 (相山女学園大学教授)	12:05～12:10 質問 12:10～13:10 昼食休憩
12:00		
12:30	12:25～13:25 昼食休憩	
13:00		
13:30	13:25～14:10 <b>高齢者の臨床栄養(2)</b> <b>ー経管栄養法と口から食えることへの</b> <b>移行のための教育</b> 高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤昌彦 (相山女学園大学教授)	VI ワーク ショップ 13:10～15:00 <b>進め方と4つの症例説明</b> <b>検討</b> <b>チームでの取り組み法の発表</b> ・低栄養改善 ・摂食・嚥下 ・認知症 ・エンド・オブ・ライフ
14:00	14:10～14:20 質問	
14:30	II プマ ネ グ ラ ム 栄 養 ケ ア の 基 礎 教 育 14:20～15:05 <b>高齢者の「食えること」の支援に参加するために：</b> <b>栄養ケア・マネジメントのポイントを教える</b> 研修プログラム委員長 杉山みち子 (神奈川県立保健福祉大学 教授) 15:05～15:10 質問 15:10～15:20 休憩	15:00～15:10 休憩 15:10～16:00 <b>討議とまとめ</b>
15:00		
15:30	III 摂 食 ・ 嚥 下 マ ネ ジ メ ン ト 教 育 プ ロ グ ラ ム 15:20～16:30 <b>病者用食品(総合栄養食品)、えん下困難者用食品を</b> <b>含めて</b> 摂食・嚥下プログラム班長 合田敏尚 (静岡県立大学 教授) 16:30～16:40 質問 16:40～17:00 <b>まとめとワークショップのための課題説明</b>	16:00～16:30 <b>実習の進め方と自己評価への</b> <b>今後の協力についての説明</b>
16:00		
16:30		終了
17:00	終了	

平成22年度 高齢者の「食えること」を支援するための栄養ケアチーム指導者研修大会

会場	【東京】昭和女子大学グリーンホール		平成23年1月8日(土)～1月9日(日)
時間	1日目		2日目
9:30	受付開始		
10:00			
10:30	<b>開会</b>	10:30～ 司会: 総括管理担当(事務局長) > 大会長ご挨拶: 委員長 井形 昭弘 大会長 > 自己評価調査へのご協力をお願い	I 講義 の高齢者の食えることを支援すること
11:00	切の I 支の食 援さ食 するべ ること ラ教育 プロの ムグ大 をを者	10:50～11:35 <b>夢の長寿社会の実現のために 一チームで支える「食えること」の大切さ</b> 井形 昭弘(名古屋学芸大学学長)	10:30～11:15 <b>高齢者の臨床栄養(1) 一低栄養状態を知ろう</b> 高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤 昌彦 (相山女子学園大学教授)
11:30	育マ II プロネ ジ養 ラケ マンケ ムトの の・ 基礎 教	11:40～12:25 <b>高齢者の「食えること」の支援に参加するために: 栄養ケア・マネジメントのポイントを教える</b> 研修プログラム委員長 杉山 みち子 (神奈川県立保健福祉大学 教授)	11:15～12:00 <b>高齢者の臨床栄養(2) 一経管栄養法と口から食えることへの 移行のための教育</b> 高齢者臨床栄養プログラム班長 加藤 昌彦 (相山女子学園大学教授)
12:00		12:25～12:35 質問	12:00～12:10 質問
12:30		12:35～13:35 昼食休憩	12:10～13:10 昼食休憩
13:00			
13:30	III マ摂 ネ食・嚥 ジ下 メント障 教育害と プロ栄養 ムグケア ラ	13:35～14:40 <b>病者用食品(総合栄養食品)、えん下困難者用食品を 含めて</b> 摂食・嚥下プログラム班長 合田 敏尚 (静岡県立大学 教授)	VI ワ ク シ ョ ッ プ
14:00		14:40～14:55 質問	13:10～15:00 <b>進め方と 4つの症例説明 検討</b> <b>チームでの取り組み法の発表</b> ・ 低栄養改善 ・ 摂食・嚥下 ・ 認知症 ・ エンド・オブ・ライフ
14:30		14:55～15:05 休憩	
15:00	ムン IV ト養 ケア認 教育知 プロ症 ム高 ラジ老 ラメ者 のメ	15:05～15:50 認知症プログラム班長 特別養護老人ホーム ふれあいの森 田中 和義	15:00～15:10 休憩
15:30		15:50～16:00 質問	15:10～16:00 <b>討論とまとめ</b>
16:00	ラジ V ムメン のエン ト栄 養ド 教育ケ アア プロ・ ムグオ ラマ グネ	16:00～16:45 エンド・オブ・ライフプログラム班長 梶井 文子(聖路加看護大学 准教授)	16:00～16:30 <b>実習の進め方と自己評価への 今後の協力についての説明</b>
16:30		16:45～16:55 質問	<b>終了</b>
17:00		16:55～17:15 <b>まとめとワークショップのための課題説明</b>	

終了

**実習(10時間)：**①手引書の症例から参加者全員で1事例を選ぶ。②自分だったらどのようなアセスメントを行い、その結果、どのような問題が把握され则认为られ、その問題に対してどのような食事支援や栄養ケアの計画を作成するかを検討し発表できるようにする(約4時間程度)③参加者全員によるカンファレンスを行う。各自発表を行い食事支援・栄養ケア計画について討論する。また、今後の栄養ケアチーム体制について討論する(2時間程度)④各自提出用のレポートを作成(4時間程度)(①から③について1600字以内、ワードで作成、図表を含めてよい、登録番号、所属、職種、氏名を記載し、申請時の会場別メールに【指導者研修課題 登録番号】を表記し送付する)

施設から一人参加した場合には、1人以上の他職種にカンファレンスへの参加をして頂いてください。